

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

258-794

事務事業名	市制70周年記念特別展「絵画のなかの物語」開催事業				財務会計上の位置付け	会計	1	款	10	項	5	目	6	細目	11	細々目	8	19予算額(千円)	18,000	
部等名	教育委員会	課等名	美術博物館		包含する細々目															
政策	2 地育力によるこころ豊かな人づくり																			
施策	27 文化芸術の振興																			
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等	・地域研究事業 ・春草 & 郷土作家調査研究保管事業 ・伊那谷文化史調査研究保管事業 ・伊那谷自然史調査研究保管事業													
		事業期間	18	年度～	19		年度													

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	・飯田下伊那広域圏の地域住民	圏域住民数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			177000	177000		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			18目標	最終目標		
	当地以外に所蔵されている優れた作品を紹介することにより、菱田春草をはじめ美術に対する関心の高まりを促す。	展覧会入場者数(人)	18実績	19目標	15000	↑
23目標			23実績		最終目標達成年度	
18目標			最終目標		19	
18実績			19目標		↑	
		23目標	23実績		最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	菱田春草をはじめとする初期美術院の横山大観、下村観山・木村武山とこの理念を継いだ再興美術院の安田靉彦・前田青邨・小林古径が描いた物語絵を展示し、その美術史的意義を考察する。また、春草をはじめとする再興美術院初期までの名品を市民に公開する。	作品調査、出品交渉  18年度の実績	交渉作品点数(点)	66
		印刷物作成 展覧会の準備・開催 講演会の実施  19年度計画	展示作品総数(点)	40

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	895	18,000
	事業費計(A)	895	18,000
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,000	19年度 2,000
	臨時職員等所要時間	50	200
	人件費計(B)	3,630	7,367
	トータルコストA+B	4,525	25,367

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	・いつでも誰でもどこでも気軽に親しむ ・自己表現の機会が得られる ・文化活動を主体的に担う	文化芸術活動に無縁な生活をおくっている人の割合(減らす%)	現状値	64.8	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	50
	文化創造活動に自ら主体的に関わっている市民の数(人)	現状値	41.8	19実績		
		20実績		21実績		
22実績			23目標		50	

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>当地住民の菱田春草への顕彰の思いは強く、飯田市制施行70周年記念にあわせて春草の名品による展覧会は開催できないかという声があり、市としてもこれに積極的に取り組もうという認識があった。 そこで平成18年度に本展を企画し、出品交渉を開始した。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>多くの有力館による相次ぐ日本画特別展が企画される中で、春草作品のみによる展覧会の開催は難しく、特に永青文庫所蔵の重要文化財作品は、熊本城築城400年祭の展示企画と重なり出品が不可能となった。これによる春草を含めた周辺作家の歴史画展に企画を修正した。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>飯田市制施行70周年記念事業であり春草の名品を含んだ意義のある展覧会が実現できるように念願されている。</p>
--	--	---

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>春草とその周辺作家の名品を紹介することで、春草作品により親しんでもらう。</p>	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がある</b> (その理由)</p> <p>広報宣伝活動に力を注ぐことにより、入館者数の増加をはかる。</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>飯田市制施行70周年記念の特別展でもあり、飯田市民を対象とした展覧会として位置づけている。</p>	廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>菱田春草に関連した特別展への期待も高く、市政70周年の目玉事業に位置づけられている。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>市民に春草の名品に親しんでもらうことを目標とするため。</p>	他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>統合不可能</b> (類似事業名、理由)</p> <p>大手代理店などが企画する日本画の巡回展などは幾つか存在しており、そうした企画に乗ることも考えられるが、市政70周年の記念展であり、市が独自性を持って企画することが効果的である。また巡回展示による作品の損耗を防ぐことも重要である。</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)？	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>本館は菱田春草の顕彰を理念の一つとして発足しており、春草の名品「王昭君」などを紹介する本展は、市が主体となって進めるべき事業であると考え。</p>	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>費用等の削減をおこなうと、作品の集荷などがままたなくなる恐れがある。</p>
			受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p> <p>本展は多数の名品を特別な費用をかけて公開する展覧会である。観覧料という形で来館者に負担を求めることは妥当と考える。</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <b>19</b></p> <p style="color: green; font-weight: bold; font-size: 2em;">→ 具体化</p>	<p style="text-align: center;">何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p> <p>ポスター・チラシの完成を通常より早め、さらに事前チラシ等によって広く広報活動を展開する。館を上げて広報に努めるのはもちろん、観光課等と連携して全庁的な取り組みとする。また、観光施設、学校、報道機関等と連携して効果的な広報・集客に努力する。</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p> <p>全市・全庁的な盛り上がりをいかにして作り出すか。全庁各課への理解を深める機会を8月中に設ける。</p>
---	--

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	